

# 平成 29 年度 特別養護老人ホームほたるの里事業計画

## 【特別養護老人ホーム、ショートステイ】

### I、施設理念

「四季おりおりの自分の花を咲かせて」

自然豊かで立地に恵まれたこの場所で、命いっぱい自分の花を咲かせ、利用者が安心して、明るく個性豊かな老後を過ごせる環境の実現に向けた施設運営を目指します。

### II、基本方針

施設理念である「安心して、明るく個性豊かな老後を過ごせる環境の実現」を目標とし、ユニットケアの特性を生かし、利用者のさまざまな希望に応えられる施設運営を目指します。また、市町村やボランティア団体等と綿密な連携を図り、施設が地域の中核施設となり、地域に根差し開かれた施設運営を目指します。

### III、施設運営

#### 【稼働状況】

- ・ 特別養護老人ホーム 80床
- ・ ショートステイ 20床

#### 【重点目標】

#### 1、職員教育の強化

- ① 内部研修体制を強化し、職員の知識・技術の底上げを図る。
- ② 勤務時間調整や業務整理、パートタイマーの雇用等、業務内容に見合った適正な人員配置を行い、効率的な運営を行う。

#### 2、安定した稼働率を実現する

- ① 特別養護老人ホーム 97%
  - ・ 退所～新規入所までの空床期間を短縮する。
  - ・ 入院数増加があるため、日々の健康管理、医師との協力体制を強化し、減少を図る。
  - ・ 退所者数が増加しているため、受入体制（特に医療行為のある方）の見直しを随時行っていく。
- ② ショートステイ 65%
  - ・ 困難事例や、緊急的な受入を積極的に行い、実績作りを目指す。
  - ・ 固定利用者の増加をめざし、リクエストに応えられる職員の育成。

#### 3、加算要件の見直し、利用者状況の把握を行い、常に新たに算定可能な加算を検討していく。

- ① 介護職員処遇改善加算の見直しを行う。
- ② 常時、加算要件の検討を行っていく。

## IV、利用者処遇

### 【重点目標】

1、介護の質の向上を目指し、新人教育・職員研修を実施していく。

① 新人職員指導計画

※詳細は新人研修スケジュール参照。（別紙2-①～②）

② 職員研修計画

- ・フリー研修を有効活用し、必要状況に合わせた研修を即実行できる体制の確保。
- ・開催回数を検討し、より多くの職員が参加できる体制を取る。
- ・レポート提出を含め、参加型の研修を実施していく。
- ・各ユニットごとに、委員会主体の研修も取り入れていく。

	内容	担当者
4月	事業計画説明 個人情報保護・苦情処理について	施設長 事務主任
5月	緊急時の対応について	消防署
6月	食中毒・褥瘡について	感染症委員会
7月	外部研修	外部講師
8月	リスクマネジメントについて（身体拘束・虐待防止）	リスクマネジメント委員会
9月	外部研修報告会	研修出席者
10月	フリー研修	担当者
11月	インフルエンザ・ノロウイルス対策	感染症委員会
12月	外部研修	外部講師
1月	高齢者に多い疾患と対応策	看護師
2月	フリー研修	担当者
3月	外部研修報告会	研修出席者

※原則毎月第3週の火曜日に実施する。

※外部研修については、講師依頼の関係から日時に変更の可能性あり。

## V、各委員会活動計画

※詳細は別紙委員会計画参照。

## 【デイサービス】

### I、方針

明るく家庭的雰囲気重視し、利用者が「にこやか」で「個性豊かに」過ごすことができるようサービス提供に努める。

### II、重点目標

- 1、年間平均稼働率 54%（定員 15 名想定）を目標にする。
  - ① 可能な限り早期に定員 18 名へと移行できるよう体制を整える。
  - ② 土日の稼働を検討していく。
- 2、加算要件の見直し、利用者状況の把握を行い、常に新たに算定可能な加算を検討していく。

### III、具体的な計画

- 1、レクリエーションを充実させ、『ほたるの里の特徴』を作り、他の事業所との差別化を図る。
- 2、特養、ショートとの併設であることを生かし、職員間での情報共有を強化し集客へつなげる。
- 3、外部研修等積極的に参加し、職員一人ひとりがスキルアップできる様、情報収集・内部研修を適宜行う。

### IV、年間行事計画書

	内容		内容
4月	お花見	10月	紅葉ツアー
5月	外出ツアー、母の日	11月	外出ツアー
6月	父の日	12月	クリスマス会
7月	夏祭り	1月	書初め、団子さし
8月	納涼祭	2月	節分
9月	敬老会	3月	ひな祭り

## 【 居宅介護支援事業所 】

### I、運営方針

- ・介護保険に関する法令の趣旨に従い、公平中立な立場から可能な限り、居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、又、自己決定ができるように援助する。
- ・地域包括支援センターの受託法人の居宅介護支援事業所として、地域包括支援センターと連携し、地域に根ざした居宅介護支援事業所を目指す。

### II、重点目標

- 1、年間平均 25 件以上の利用者数確保に努める。
- 2、自立支援の理念においてケアマネジメントを実施する。
- 3、市町村からの認定調査を受託する。

### III、具体的な計画

- 1、地域包括支援センターが開催する地域ケア会議等に参加し、社会資源などの地域の情報収集に努める。
- 2、入退院時にも医療機関との情報交換を行い、医療サービスとの連携を図る。
- 3、対応困難な事例に関しては地域包括支援センターに相談し、連携・解決していく。
- 4、サービス事業所との情報交換を密にし、円滑に支援できるよう連携に努める。

### IV、年間行事計画書

	内容		内容
4月	棚倉町ケアマネジャー連絡会議 (毎月1回)	10月	デイサービスセンターほたるの里・ デイサービスセンター寿恵園運営会議
5月		11月	
6月		12月	
7月	介護予防支援従事者研修	1月	
8月		2月	認定調査現任研修
9月		3月	デイサービスセンターほたるの里・ デイサービスセンター寿恵園運営会議

※開催状況について随時参加